



セイフルニュースレター 省エネ“なう”通信

2019年4月

第83号

セイフルの最新情報はこちらから
www.safulle.co.jp



今月のセイフルなう

エアコンプレッサ“トラブル対策”特集

コンプレッサの最適な使用環境を考える！
もうすぐ夏本番、お使いのコンプレッサ大丈夫ですか？

セイフル主催WEBセミナー

コンプレッサの最適な使用環境 & 省エネ講習会

講師：株式会社日立産機

詳しくは裏面をcheck!! →

省エネ・コスト削減・設備のことなら
何でもお気軽にご相談ください



セイフル株式会社

埼玉県深谷市上野台2423-6
TEL:048-572-2442
FAX:048-572-6840
担当：剣持(けんもち)

セイフル主催技術講習会 申し込み用紙

ご応募方法：必要事項を記入の上、下記お問い合わせ先までFAX、メールのいずれかで
ご連絡いただくか、弊社担当へ直接ご連絡ください。

講習会テーマ：コンプレッサの最適な使用環境 & 省エネ講習会

講師：株式会社日立産機

実施日：2020年5月28日(木) 15:00～17:00

開催形式：WEBセミナー

*新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、WEB開催と致します。お申込者さまには別途、詳しい案内を致します。

講習会申込書

御社名		参加人数	名
参加者名			
ご連絡先			

*当日は受付用にお名刺を1枚(お待ちの方は)お持ちください。

今後実施してほしい講習のリクエストがあればご記入ください。

今後実施してほしい講習のリクエストがあればご記入ください。

ぜひご参加ください。お待ちしております！

お問い合わせ

048-572-2442

FAX:048-572-6840
MAIL: satoshi-kenmochi@safulle.co.jp

担当：剣持(けんもち)



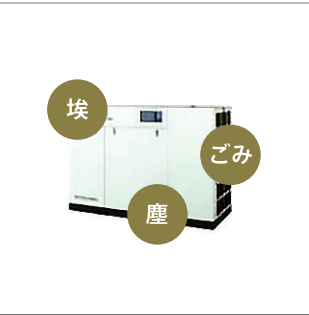
エアコンプレッサ

“トラブル対策”特集



～コンプレッサの最適な使用環境を考える!～

このようなお困りごとありませんか？



吸い込み口のフィルタに埃、塵、ごみが溜まる...



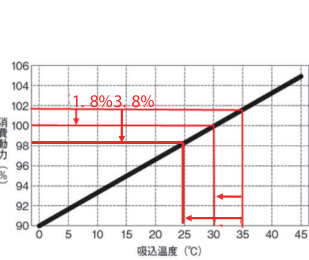
必要な給気が足りていない...



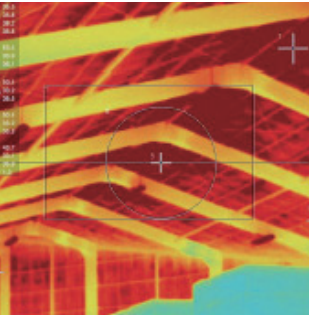
排気ダクトが接続されていなくて、熱がこもる...



排気ダクトに断熱ができていない...



夏は吸い込み温度が上がり、増エネになる...



夏は室内が45℃を越えて、機器が止まる...



コンプレッサ室がなく、温度管理ができない...



工場内にコンプレッサを設置している...

次のページでコンプレッサの“正しい使用環境”をチェックしましょう！

コンプレッサの使用環境をチェック!

今お使いのコンプレッサの使用環境は大丈夫ですか？
チェックシートで自己診断してみてください (□の中にチェックを入れてみてください)



	設置環境	備考・理由
☐	コンプレッサ専用室を設置している	熱源やオイルミスト・粉塵が出る装置のある現場に設置しない
☐	周囲温度は0℃以上(冬期)	ドレン凍結により圧縮機各部に作動不良が発生する
☐	周囲温度は40℃以下(夏期)	ベアリンググリスの劣化やピストンリングの摩耗を早め、寿命低下や破損事故の原因となる 周囲温度45℃以上で異常警報がなり、強制停止する
☐	天井は本体から1.5m以上高い	導入した外気とコンプレッサから排出された高温の排気と混合される前に熱い空気を吸い込む
☐	コンプレッサ間は1m以上の間隔がある	
☐	換気扇が高い位置にあり、室内の給気口は本体の吸い込み口側の低い位置にある	室内の給気口から、換気扇までの空気の流れを作り、 コンプレッサ廃熱(エアドライヤ廃熱含む)を排気することができる
☐	コンプレッサ室の給気口から排気口までの空気の流れの途中にコンプレッサがある	
☐	排気ダクトは断熱あるいは遮熱している	排気ダクトからの放熱で室内の温度上昇を招く
☐	湿度の低い場所である	雨水がかかったり、湿気が多い場所(湿度85%以上)では、 漏電や火災事故を起こす危険がある 空気中に含まれる水分が多いとドレンとして凝縮し機外に排出され、圧縮空気の量が減少する
☐	近くに爆発性ガス・引火性ガスがない	圧縮の行程で爆発や引火を引き起こす原因となる
☐	近くに腐食性ガスがない	コンプレッサの寿命低下の原因となる
☐	粉塵・ゴミ・塵・埃・オイルミストがない	鉄粉・研磨粉・木屑などを吸い込むと、吸い込み口フィルタの目詰まりによる性能低下や圧縮機内部の異常摩耗による破損事故の原因となる
☐	床が水平で基礎がしっかりしている	設置が不安定な場合、異常振動や異音が発生する
☐	ダクトの一部は取り外しできる	ダクト内の清掃、本体の移動を考慮する
☐	エアドライヤの廃熱は強制換気しない	過冷却となり内部のドレン水の凍結の原因となる
☐	負圧にしない	負圧になると換気扇の前後に差圧が発生し、設定通りの換気量が得られない
☐	全体換気の場合、コンプレッサ室の必要給気量＝必要換気量＋吐出し空気量 必要換気量＝(据付台数×1台あたりの発生熱量MJ/h)／0.00126×△T×60 (※許容温度差は一般的に5℃程度)	
☐	水冷式の場合、冷却塔、冷却水のスケール・シリカ対策・濃度管理を行う	本体の冷却能力が低下し、最悪の場合停止につながる



すべてにチェックが付かなかった方やコンプレッサのトラブルがある方、 このままFAXください! すぐに現場直行します!



お客様お問い合わせ記入欄

内容に関して、ご興味がありましたら下記をご記入の上FAXして頂くか、お電話にてお問い合わせ下さい。

☐ コンプレッサの使用環境について相談したい!

☐ 現場を見て提案してほしい!

TEL:048-572-2442 FAX:048-572-6840

貴社名: _____

ご担当者名: _____

ご住所: _____

電話番号: _____

メールアドレス: _____ @ _____